



2014 / 6

外国人旅行者が行けない岡山城と後楽園

☆外国人旅行者が岡山を訪れ真っ先に向かうところは岡山城と後楽園といっても間違いはないでしょう。しかし、先日アメリカからのツアー客から『行き方が分からない』と指摘を受けました。手にされた英語版の観光ガイドを見ると岡山城と後楽園へのアクセス方法はこのように書いてあります。岡山城・後楽園ともに「東山行き路面電車に乗り、「城下」で降りて徒歩 10 分...」(写真 1) これだとすぐに行けそうな気がしますが、迷子になってしまうんですね。どうしてでしょう。

外国人旅行者になった気分でガイドブックに載っている路面電車を使ったアクセス方法をレポートします。

☆まず JR岡山駅から路面電車に乗り換えませんが、現在路面電車の岡山駅前乗入が実現に向かってるのでここでは割愛します。外国人でもスムーズな乗り換えができるようになってほしいですね。

☆ではガイドブックの通り、路面電車に乗り、降りた停留所「城下」から。

「城下」で降りると中央分離帯に放り出されたような気分になりますが、外国人旅行者はまずここでどちらに行くか迷うこととなります。

横断歩道を右に渡るか、シンフォニーホール側に渡るか、停留所前方に見える地下「しろちか」にもぐるか(写真 2)。でもこの標識には英字がないのでどこに行けるのかまったく分かりません。地下はできるだけ避けたいとの思いも働きます。しばしキョロキョロ、道路の案内標識にある岡山城・後楽園への矢印(写真 3)を見つけると横断歩道を右(城下公会堂側)に渡ります。しかし、渡ったところでもう一回横断歩道を渡らなければなりません。



(写真 1)アクセス方法の記述はどちらも同じ

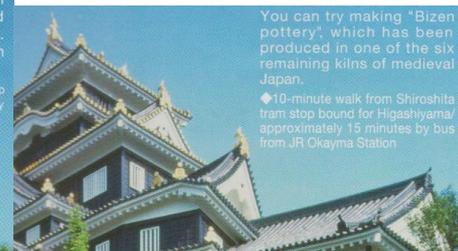


写真 2



写真 3

この標識はあくまでも車用ですね。

旅行者からは見えにくいです。

☆ではシンフォニーホール側に渡ってみます。

今度は案内標識が見つけれられません。

結局は誰かに道を尋ねることになります。



写真 4

☆では、残る手はひとつ、「しろちか」にもぐります。

しかし、もぐるにはちょっと勇気が要ります。

案内標識(写真 4)に英字がないのです。「しろちか」だけ SHIROCHIKA と書かれています。「しろちか」の名称は誰が考えたか分かりませんが外国人旅行者から見ればまったく意味が分かりません。

